

守谷市国際交流協会  
小川一成様

2018 年 3 月 23 日

MIFA30 周年

拝啓、小川会長  
親愛なる会員の皆さまへ

守谷市国際交流協会は 30 年間存続しています。私はこの協会が何十年にもわたって存続していることをお祝いします。というのは、今日までこのような長い期間にわたって、文化の境界を越えて、まさしく個人の交流が続いているのは、当然のことではないからです。親愛なる小川さん、また会員の皆さまは、長年にわたって評価され、我々姉妹都市と MIFA の中で重要な構成要素です。私は、現在および過去の MIFA の会員すべての代表である貴方に、私の特別な謝辞を申し上げます。あなたの個人的な貢献は通常のレベルを超えています。また 1990 年以来、姉妹都市 守谷・マインブルクが存続したことも、MIFA のコミットメント（社会参加活動）によるものでもあります。

あなたがたの協会は、世界が親密な関係になればなるほど、それだけ一層重要です。我々がよくグローバリゼーション（グローバル化）と呼ぶ発展は、しばしば人々の頭（心）を超えて行なわれます。つまり、手の届かないところで起きています。しかし、個々の活動はどこにありますか？ 姉妹都市は、それぞれが体験すると同様に共同で体験し、一緒に参加するための理想的なフォーラム（集会場所）です。都市のパートナーシップは、参加することにより、広い意味で国際理解に貢献する機会を提供します。そして、姉妹都市はたくさんの新しいことを知る機会と新しい友人を獲得する機会を提供します。

私はあなたがた個人だけでなく、MIFA もさらにより長く続き、そしてマインブルクとの楽しい協力を望みます。

敬具  
マインブルク市長  
ヨーゼフ・ライザー